



平成 20 年 8 月 20 日

各 位

会 社 名 エリアリンク株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 林 尚道
(コード番号 8914 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 金子 正輝
TEL 03 - 3568 - 4688

特別損失の発生 及び 平成 20 年 12 月期中間期（連結・個別）
及び 通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 12 月期中間期において特別損失を計上するとともに、平成 20 年 2 月 22 日に公表した「平成 19 年 12 月期決算短信」における平成 20 年 12 月期中間期及び通期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）の連結及び個別業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容について

当社といたしましては、最近の市況や取引先の業績悪化等を勘案し、当社が保有する取引先に対する債権について保守的にその安全性について見直しを行った結果、貸倒引当金繰入額 1,272 百万円、減損損失 180 百万円を含め、特別損失として 1,585 百万円を計上いたします。

なお、貸倒引当金繰入額の内容につきましては昨年度において物件購入の為の前渡金として処理していた未返還金に対するものが 1,025 百万円、売掛金・未収入金に対するものが 247 百万円であります。

また、減損損失の内容につきましては当社が保有する収益性の低い固定資産についても検討の結果、減損処理を行い、減損損失 180 百万円を特別損失として計上いたします。

2. 平成20年12月期中間期(連結)業績予想数値の修正

(平成20年1月1日～平成20年6月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当中間期純利益
前回予想(A)	7,730	535	256	125
今回修正予想(B)	8,200	580	270	1,105
増減額(B-A)	470	45	14	1,230
増減率(%)	6.1	8.4	5.5	-
(参考) 平成19年12月期中間期(連結)実績	21,676	4,161	3,862	2,201

3. 平成20年12月期中間期(個別)業績予想数値の修正

(平成20年1月1日～平成20年6月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当中間期純利益
前回予想(A)	7,712	582	320	190
今回修正予想(B)	8,160	639	377	1,070
増減額(B-A)	448	57	57	1,260
増減率(%)	5.8	9.8	17.8	-
(参考) 平成19年12月期中間期(個別)実績	21,536	4,174	4,011	2,206

4. 平成20年12月期(連結)業績予想数値の修正

(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	17,523	1,561	1,002	532
今回修正予想(B)	17,523	1,561	1,002	698
増減額(B-A)	0	0	0	1,230
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	-
(参考) 平成19年12月期(連結)実績	30,260	3,926	3,389	1,343

5. 平成20年12月期(個別)業績予想数値の修正

(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	17,479	1,677	1,153	683
今回修正予想(B)	17,479	1,677	1,153	577
増減額(B-A)	0	0	0	1,260
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	-
(参考) 平成19年12月期(個別)実績	29,952	4,113	3,745	1,636

6. 修正理由

(連結・個別について)

当連結会計年度における不動産市場は、昨年下半年に米国のサブプライムローン(信用力の低い個人向けの住宅融資)問題を発端とした世界的な金融収縮による金融市場の混乱と株式市況の悪化により、中堅・中小の不動産会社等の経営破綻が相次ぐなど経営環境は更に厳しさが増しております。

当社は、このような経営環境の悪化に対し『ストック型』の事業である不動産運用サービス事業に機軸を移し、特に事業の要であるストレージ事業の抜本的な組織改革、商品開発、マーケティング等の強化に努め、速やかな経営改革に取り組んでおります。

これにより、平成20年12月期中間期においては、連結・個別共に売上高・営業利益・経常利益につきましては、計画を多少上回る実績となっております。

しかしながら、上記1記載の特別損失の発生により、当中間期純利益(連結・個別)が当初予想を下回る見込みであります。

また、平成20年12月期通期(連結・個別)の業績予想は、売上高・営業利益・経常利益につきましては計画通りに進捗すると見込んでおりますが、当中間期に計上した特別損失の発生により、当期純利益が当初予想を下回る見込みであります。

以 上

(注)上記に記載いたしました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。